

CD ラジオ カセットコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



警告

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読み
のうえ、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管し
てください。

CFD-370

© 1996 by Sony Corporation



警告

安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットや電源コードなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



- ① 電源を切る
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ お買い上げ店またはソニーサービス窓口へ修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

| | |
|---------------------|----|
| ⚠警告・⚠注意 | 4 |
| <hr/> | |
| ここだけ読んでも使えます | |
| CDを聞く | 8 |
| ラジオを聞く | 10 |
| テープを聞く | 12 |
| 録音する | 14 |

ここだけ読んでも
使えます

CD

| | |
|---------------------------------|----|
| 表示窓の見かた..... | 16 |
| 聞きたい曲を探す （ダイレクト選曲/サーチ）..... | 17 |
| 繰り返し聞く（リピート演奏）..... | 18 |
| 聞きたい曲を好きな順に聞く （プログラム演奏）..... | 19 |

ラジオ

| | |
|------------------|----|
| 放送局を記憶させる..... | 20 |
| 記憶させた放送局を聞く..... | 21 |

タイマー

| | |
|-----------------|----|
| 時計を合わせる..... | 22 |
| 音楽で目覚める..... | 23 |
| 音楽を聞きながら眠る..... | 25 |

準備

| | |
|---------------|----|
| 電源を準備する..... | 26 |
| 好みの音質で聞く..... | 27 |

その他

| | |
|-------------------|-----|
| 使用上のご注意..... | 28 |
| 故障かな？と思ったら..... | 29 |
| お手入れ..... | 32 |
| 保証書とアフターサービス..... | 33 |
| 主な仕様..... | 34 |
| 各部のなまえ..... | 35 |
| 索引..... | 裏表紙 |

録音についてのご注意

- ・ 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ・ CDラジオカセットコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償については、ご容赦ください。
- ・ あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

内部に水や異物を落とさない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に変換をご依頼ください。



湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因となることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



海外では使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナや電源プラグに触れない

感電の原因となります。ただし製品を屋外で使用中に、遠くで雷が鳴りだしたときは、落雷を避けるため、すぐにロッドアンテナをたたんで使用を中止してください。





注意

下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



分解禁止



ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



接触禁止

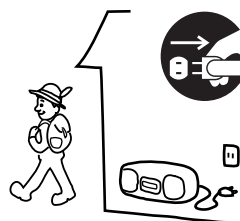


移動させるとき、長時間使わないときは、

電源プラグを抜く

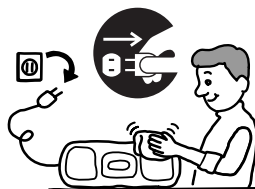
電源プラグを差し込んだまま移動させると、電源コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。また、製品を持ち運ぶ際は、目のけがなどをしないように、ロッドアンテナを折りたたんでください。

長期間の外出、旅行のときは安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因となることがあります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



禁止



注意 つづき

通風孔をふさがない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または壁や家具に密接して置いて、通風孔をふさがないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります



大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



幼児の手の届かない場所に置く

カセットぶたなどに手をはさまれ、けがの原因となることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

警告

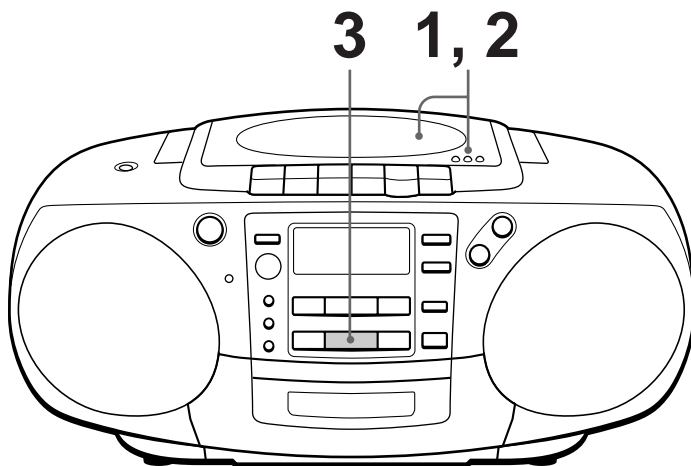
- ・ 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・ 乾電池は充電しない。
- ・ 指定された種類の電池を使用する。

注意

- ・ +と-の向きを正しく入れる。
- ・ 電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、取り出しておく。
- ・ 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

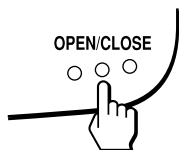
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

CDを聞く

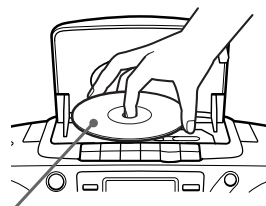


準備→電源コードを接続してください(26ページ参照)。

1

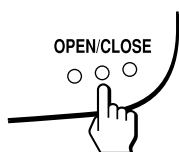


オープン クローズ
OPEN/CLOSEボタンを押して、CDぶたを開け、CDを入れる。



文字のある面を上

2



CDぶたを閉める。



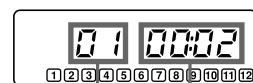
3



▶||ボタンを押す。

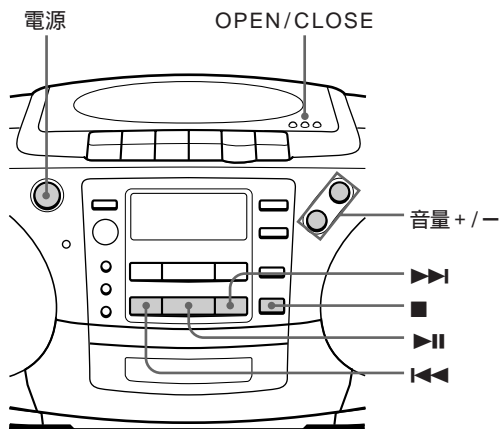
自動的に電源が入り、再生が始まります。

本体表示窓



曲番 演奏経過時間

その他の操作



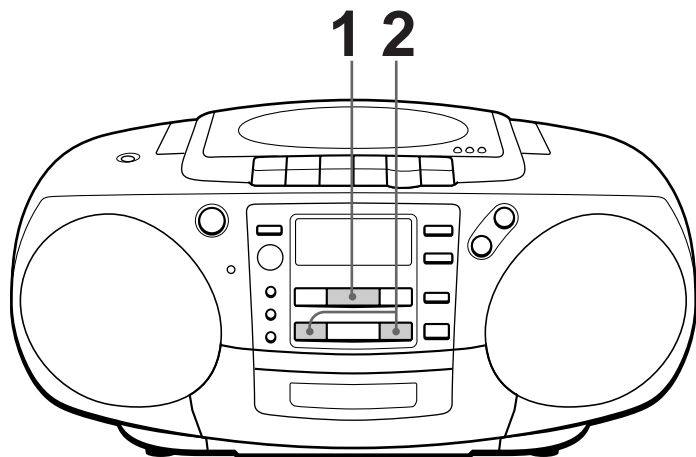
ここだけ読んで
使えます

ちょっと一言

1度CDを入れておけば、次にCDを聞くときは▶||ボタンを押すだけで電源が入り、演奏を始めることができます。

| | |
|------------|-----------------------|
| こんなときは | 押すボタン |
| 音量を調節する | 音量+/- |
| 再生を止める | ■ |
| 再生中に一時停止する | ▶ もう1度押すと演奏が始まる。 |
| 曲の頭に戻す | ◀◀ 短くボンと押す。 |
| 次の曲へ進む | ▶▶ 短くボンと押す。 |
| CDを取り出す | OPEN/CLOSE |
| 電源を入/切する | 電源 |

ラジオを聞く



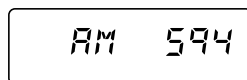
準備→電源コードを接続してください(26ページ参照)。

1



エフエム エイエム
ラジオFM/AMボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

本体表示窓



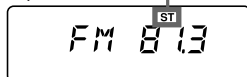
ボタンを押すと自動的に電源が入り、「FM」か「AM」が出ます。切り換えるときは、もう1度押します。

2



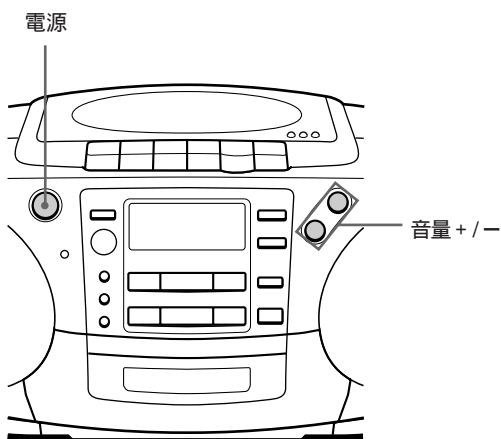
チューニング/時間設定+または- ボタンを押したままにし、数字が動き始めたら指を離す。

FMステレオ放送のとき出る



放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかったときは、チューニング/時間設定+または- ボタンを繰り返し押して、聞きたい局の周波数に合わせます。

その他の操作



ちょっと一言

- ・ FMステレオ放送の雑音が多いときは、モードボタンを押して、表示窓に「Mono」を出します。音はモノラルになります。
- ・ 1度放送局を受信すれば、次にラジオを聞くときはラジオFM/AMボタンを押すだけで電源が入り、ラジオを聞くことができます。

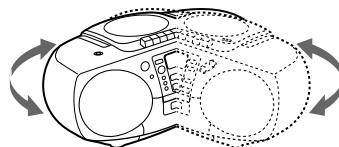
| こんなときは | 押すボタン |
|----------|-------|
| 音量を調節する | 音量+/- |
| 電源を入/切する | 電源 |

受信状態をよくする

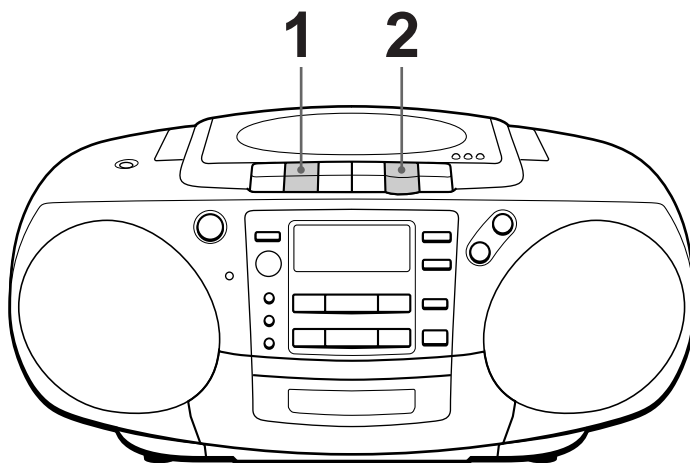
FM (TV1 ~ 3ch) 放送のとき
ロッドアンテナを伸ばし、向きを変える。



AM放送のとき
本体の向きを変える。

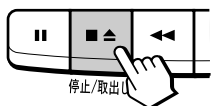


テープを聞く



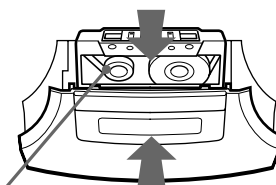
準備→電源コードを接続してください(26ページ参照)。

1



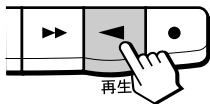
■△ボタンを押し、カセットを入れる。

TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。



聞きたい面を手前に

2



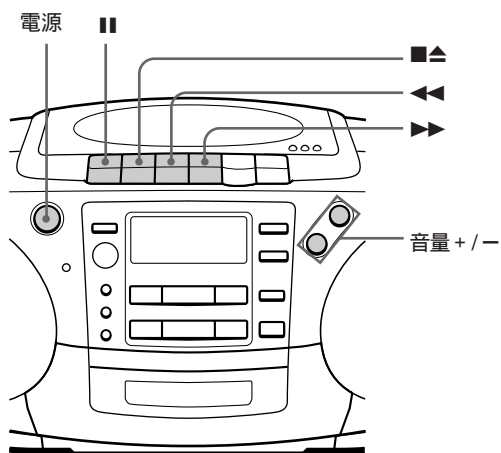
◀ボタンを押す。

自動的に電源が入り、再生が始まります。

本体表示窓

T A P E

その他の操作



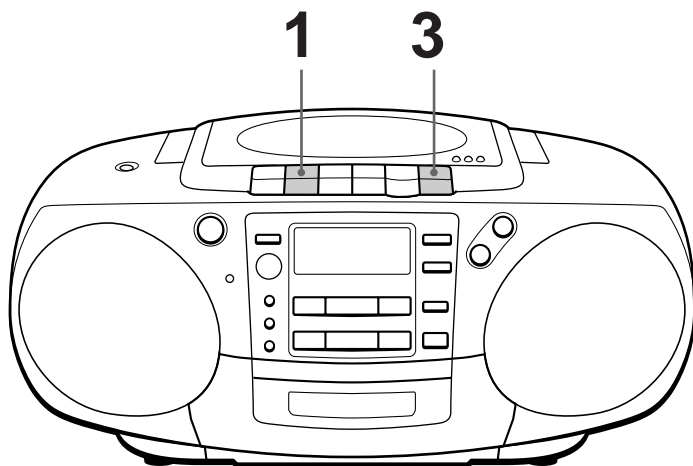
ここだけ読んで
使えます

ちょっと一言

1度テープを入れておけば、次にテープを聞くときは ◀ ボタンを押すだけで電源が入り、聞くことができます。

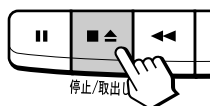
| | |
|------------|--------------------|
| こんなときは | 押すボタン |
| 音量を調節する | 音量 +/- |
| 再生を止める | ■▲ |
| 早送りや巻戻しをする | ◀◀ または ▶▶ |
| 再生中に一時停止する | もう1度押すと演奏が始まる。 |
| カセットを取り出す | ■▲ |
| 電源を入/切する | 電源 |

録音する



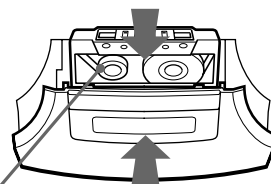
準備→電源コードを接続してください(26ページ参照)。

1



■△ボタンを押して、録音用カセットを入れる。

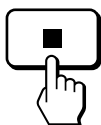
TYPE I (ノーマル) テープをお使いください。



録音をする面を手前に

2

停止

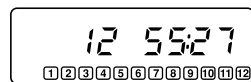


録音するものを選ぶ。

CDを録音するとき

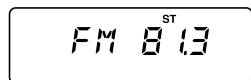
CDを入れる(8ページ参照)。CDの■ボタンを押して、CDを録音できる状態にする。

本体表示窓



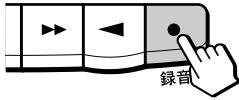
ラジオを録音するとき

録音する局を受信する(10ページ参照)。



3

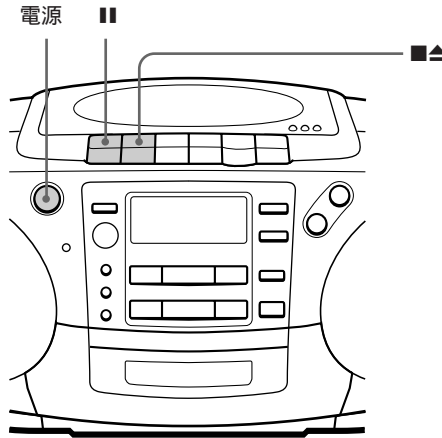
●ボタンを押す。



◀ボタンが同時に押され、録音が始まります。

ここだけ読んで
使えます

その他の操作



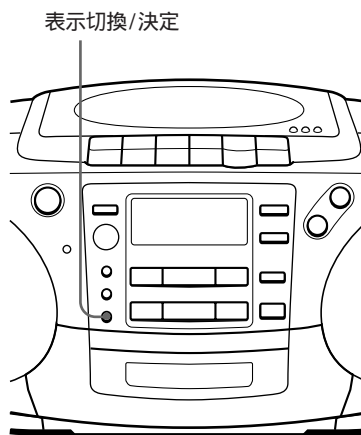
ちょっと一言

- 録音中、音量や音質を変えても録音される音は変わりません。
- 録音するときは、乾電池ではなく付属の電源コードを使用することをおすすめします。
- AM放送を録音するとき、手順3の●ボタンを押したあとビーという雑音が出ていたら、モードボタンを押して雑音が消える状態を選んでください。
- 録音した音を消去するには
 - テープの◀ボタンを押したあと■▲ボタンを押して、デッキに音を消したいカセットを入れる。
 - ボタンを押す。

| こんなときは | 押すボタン |
|-----------|----------------------|
| 録音を止める | ■▲ |
| 録音を一時停止する | II もう1度押すと録音が始まる。 |
| 電源を入/切する | 電源 |

表示窓の見かた

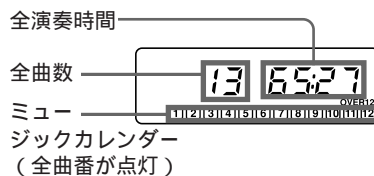
表示窓で、CDの全曲数や全演奏時間、残りの曲数、残り時間などを調べることができます。



全曲数と全演奏時間を調べるには

停止中、表示切換/決定ボタンを押す。

12曲以上入っているCDでは、「OVER 12」と表示されます。



残り時間を調べるには

演奏中、表示切換/決定ボタンを押す。

演奏し終わった曲番は、ミュージックカレンダーから消えていきます。

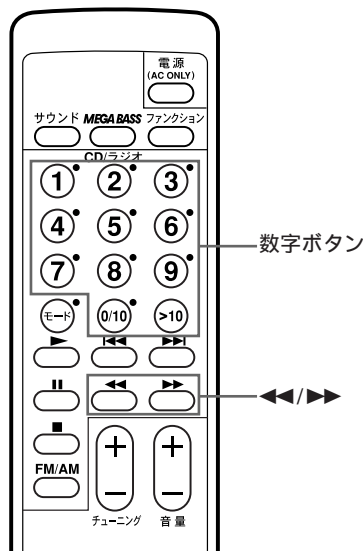
| 表示 | 押す回数 |
|---------------------|------|
| 演奏中の曲番と曲の残り時間* | 1回 |
| CD全体の残りの曲数と残り時間 | 2回 |
| 演奏中の曲番と演奏経過時間(通常表示) | 3回 |

* 21曲以降の曲では、演奏中の曲の残り時間は「--:--」と表示されます。

聞きたい曲を選ぶ

(ダイレクト選曲/サーチ)

数字ボタンですぐに聞きたい曲の演奏が始められます。◀◀/▶▶ボタンで曲の中の聞きたい部分を探すこともできます。



C
D

ご注意

ダイレクト選曲の場合は、表示窓に「PGM REP」「SHUF REP」「PGM」が出ていたら、CDの■ボタンを押して消します。

ちょっと一言

10曲目以降の曲を選ぶには、>10ボタンを押したあと10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

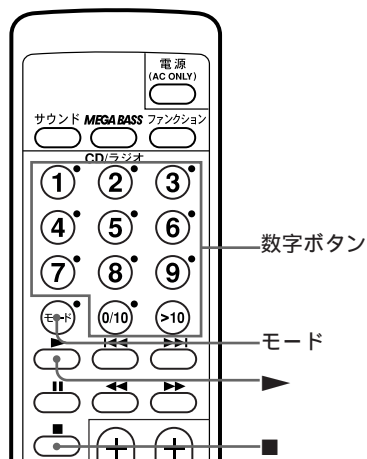
例：23曲目を選ぶときは、>10 2 3の順に押します。

| 選びかた/探しかた | 操作のしかた |
|----------------------------|----------------------------|
| 曲番で直接選ぶ (ダイレクト選曲) | 聞きたい曲番の数字ボタンを押す。 |
| 聞きながら探す (サーチ) | 演奏中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 |
| 表示窓の演奏時間を見ながら探す (高速サーチ) | 一時停止中に◀◀または▶▶ボタンを押したままにする。 |

繰り返し聞く

(リピート演奏)

ボタンひとつで全曲を繰り返し聞くことができます。曲順を変えて繰り返すこともできます。



1 CDの■ボタンを押す。

「CD」が表示されます。

2 モードボタンを押して、希望の表示を出す。

| リピートの種類 | 選ぶ表示 |
|----------------|--|
| 1曲だけ繰り返す | 1 モードボタンを押して「REP 1」を表示させる。 2 数字ボタンを押して曲を選ぶ。 |
| 全曲を繰り返す | 1 モードボタンを押して「REP ALL」を表示させる。 2 ▶ボタンを押す。 |
| 順不同に繰り返す | 1 モードボタンを押して「SHUF REP」を表示させる。 2 ▶ボタンを押す。 |
| プログラムした曲順で繰り返す | 1 モードボタンを押して「PGM REP」を表示させ、プログラムする。(19ページの手順3参照) 2 ▶ボタンを押す。 |

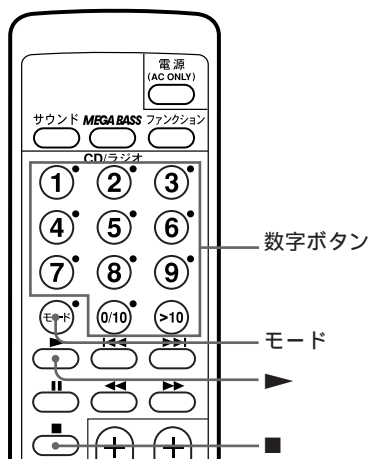
リピート演奏をやめるには

モードボタンを押して「REP」表示を消します。

聞きたい曲を 好きな順に聞く

(プログラム演奏)

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラム
することができます。



C
D

ちょっと一言

- ・ プログラムする曲を本体で選ぶこともできます。数字ボタンを押す代わりに、◀◀/▶▶ボタンで曲を選んだあと表示切換/決定ボタンを押します。
- ・ プログラム演奏が終わっても、作ったプログラムは残っています。▶ボタンを押すと同じプログラムをもう1度聞くことができます。
- ・ CDふたを開けるとプログラムの内容は消えます。
- ・ プログラム演奏を録音するには、プログラムを作ってから、録音用カセットを入れ、●ボタンを押して録音を始めます。

1 CDの■ボタンを押す。
「CD」が表示されます。

2 モードボタンを押して「PGM」を表示させる。

3 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。

選んだ曲番がミュージックカレンダーに表示されます。



4 ▶ボタンを押す。
プログラムした順に演奏が始まります。

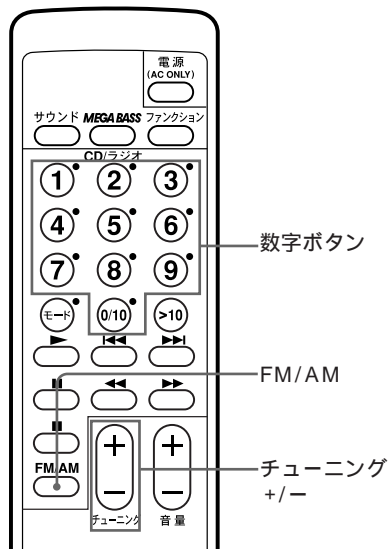
プログラム演奏をやめるには
モードボタンを押して「PGM」を消します。

曲順を確認するには
演奏前に、表示切換/決定ボタンを押します。
押すたびに、プログラムした順で曲番が表示されます。

プログラムを変更するには
演奏前には1回、演奏中には2回、CDの■ボタンを押して現在のプログラムを消してから、プログラムし直します。

放送局を記憶させる

特定の放送局を記憶させることができます。次からは記憶させた番号（プリセット番号）でその局を選ぶことができます。FM、AM各10局ずつ、合計20局まで記憶できます。



ちょっと一言

本体で操作するときは次のようにします。

- 1 ラジオFM/AMボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 記憶させたい放送局を受信する。
- 3 表示切換/決定ボタンを約2秒間押したままにする。
- 4 プリセット選局 +/- ボタンを押して、ミュージックカレンダーの記憶させたいプリセット番号（1～10）を点滅させる。
- 5 表示切換/決定ボタンを押す。

1 FM/AMボタンを押して、FMかAMを選ぶ。

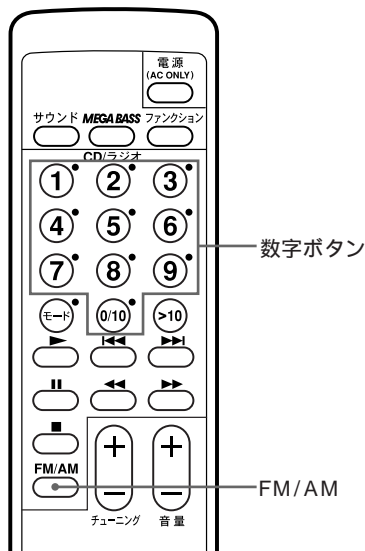
2 記憶させたい放送局を受信する。

3 記憶させたいプリセット番号（1～10）の数字ボタンを約2秒間押したままにする。

新しい放送局を記憶すると、同じプリセット番号に記憶されていた前の局は消えます。

記憶させた 放送局を聞く

リモコンの数字ボタンで、簡単に放送局を選ぶことができます。



ラジオ

ちょっと一言

本体で操作するときは、プリセット選局 +/- ボタンを押して、希望のプリセット番号を表示させます。

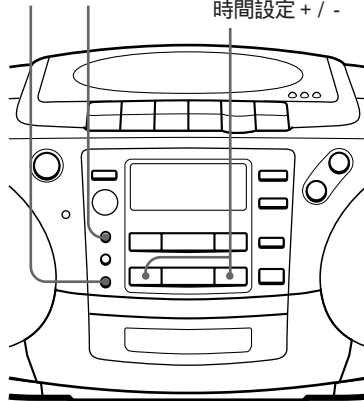
- 1 FM/AMボタンを押して、FMかAMを選ぶ。
- 2 数字ボタンを押して聞きたい局のプリセット番号を選ぶ。

時計を合わせる

本機の時計表示は、時刻を合わせるまで「AM 12:00」のままです。

表示切換/
決定

時計/タイマー チューニング/
時間設定 +/-



ちょっと一言

- 本機の時計は12時間表示です。
真夜中:「AM12:00」
正午 :「PM12:00」
- 秒まで正確に合わせるには、時報サービス(117番)をご利用になると便利です。

操作の前に

電源の準備をしてください(26ページ参照)。

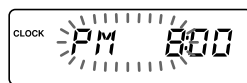
1 時計/タイマーボタンを押して、「CLOCK」を表示させる。

2 時計/タイマーボタンを約2秒間押したままにする。

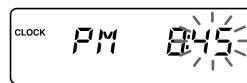
「時」表示が点滅します。

3 時刻を合わせる。

- ① チューニング/時間設定
+/- ボタンを押して
「時」を合わせ、表示切
換/決定ボタンを押す。



- ② チューニング/時間設定
+/- ボタンを押して
「分」を合わせる。



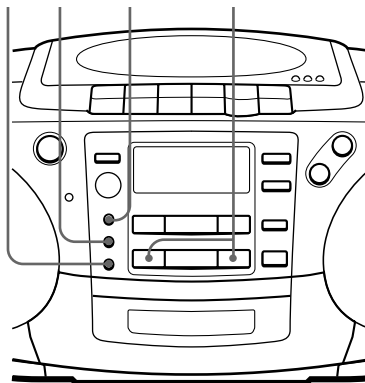
4 表示切換/決定ボタンを押す。

00秒から時計が動きます。

音楽で目覚める

好きな音楽やラジオ番組を目覚まし代わりにすることができます。本機の時計合わせを行ってから操作してください（22ページ参照）。

表示切 スタン 時計/ チューニング/
換/決定 バイ タイマー 時間設定 +/-



タイマー

操作の前に

表示窓に①が出ていたら、スタンバイボタンを押して消します。

1 聞きたい音源の準備をする。

| 音源 | 準備 |
|-------------|-------------|
| CD | CDを入れる。 |
| RADIO (ラジオ) | 聞きたい局を受信する。 |

2 時計/タイマーボタンを押して、「TIMER」を表示させる。

3 時計/タイマーボタンを約2秒間押したままにして、②を表示させる。

このあと表示窓で確認しながら設定していきます。

4 チューニング/時間設定 +/- ボタンを押して聞きたい音源を表示させ、表示切換/決定ボタンを押す。

「Cd」「RADIO」のうち聞きたい音源を表示させます。

次のページへつづく

音楽で目覚める (つづき)

ちょっと一言

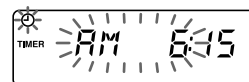
予約内容は別の予約をしない限り保持されます。

ご注意

タイマー再生中にテープ操作部の◀ボタンを押すか、リモコンのファンクションボタンで「TAPE」を選ぶと、表示窓から「TIMER」が消え、タイマー再生が解除されます。

5 再生を始める時刻を設定する。

- ① チューニング/時間設定 + / - ボタンを押して「時」を合わせ、表示切換/決定ボタンを押す。



- ② チューニング/時間設定 + / - ボタンを押して「分」を合わせ、表示切換/決定ボタンを押す。

6 チューニング/時間設定 + / - ボタンを押して希望の音量を表示させ、表示切換/決定ボタンを押す。

7 スタンバイボタンを押す。

電源が切れ予約待機状態になり、④が出ます。予約した時刻になると表示窓に「TIMER」が表示され、自動的に再生が始まり、60分後に自動的に電源が切れます。

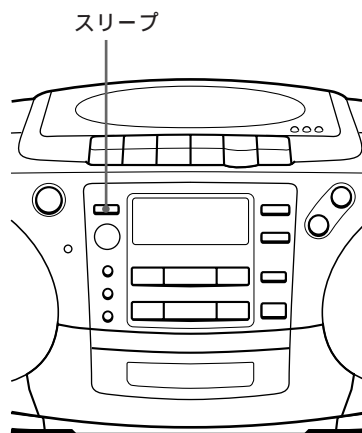
予約した内容を確認めたり、変更するには23ページの手順2、3のあと、表示切換/決定ボタンを押します。押すたびに設定した順に予約内容が表示されます。そのまま元の状態に戻すには、時計/タイマーボタンを押します。変更したい場合は、その内容を表示させて、そこから設定をやり直します。

予約したあとでラジオなどを聞くには電源を入れれば、通常の操作ができます(ラジオの場合23ページの手順1で受信した局とは別の局を聞くと、予約した時間には、その別の局が始まります)。予約した時間になる前に電源を切ります。

予約再生中、途中で止めるには電源を切ります。

音楽を聞きながら眠る

60分たつと、自動的に電源が切れます。音楽を聞きながら安心してお休みになれます。



タイマー

ちょっと一言

- ・ テープを聞く場合、60分以上のテープをお使いになると、テープが終わるまでスリープ機能が働きます。
- ・ CDやラジオを聞く場合は、テープの◀ボタンが押し込まれていないことを確認してください。
- ・ 目覚ましとスリープ機能を組み合わせて使うことができます。このときは、先に目覚ましを予約してから（23ページ参照）、電源を入れ、スリープ機能を働かせます。
- ・ 目覚ましとスリープ機能で違う音楽を聞くことができます。ただし、ラジオでは別の局を設定することはできません。

1 聞きたい音楽の演奏を始める。

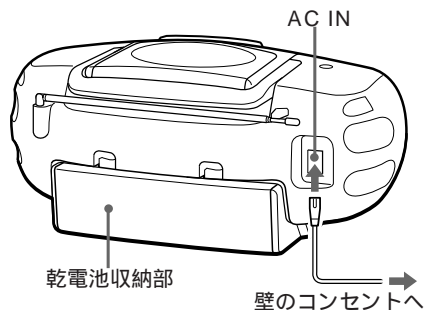
2 スリープボタンを押して、「SLEEP」を表示させる。

60分たつと、自動的に電源が切れます。

スリープ機能を途中で止めるには
スリープボタンを押して、「SLEEP」を消します。

電源を準備する

家庭用電源または、乾電池のいずれかを選んでお使いになれます。



電源コードを接続する

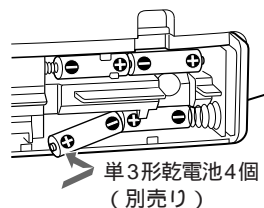
本機のAC INジャックへ差し込んだあと、壁のコンセントへ差し込んでください。

ちょっと一言

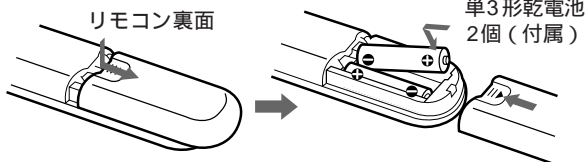
- 乾電池のみで使用中、メモリー用の乾電池が消耗してくると、表示窓の時計表示が薄くなったり、タイマーの操作ができなくなったりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。電池は約6か月もちます。電源コードをつないで電池の交換をすると、記憶内容がそのまま残ります。
- 乾電池を出し入れするときは、CDを取り出しておいてください。CDがたの中でCDがずれて、傷つくおそれがあります。
- 乾電池でお使いの場合は、リモコンで電源を入れることはできません。

停電時に内蔵タイマーや放送局の記憶内容を保つためには

メモリー用乾電池を入れてお使いください。



リモコンに乾電池を入れる

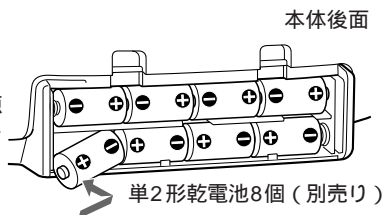


乾電池の交換について

乾電池が消耗してくると、リモコンで操作できる距離が短くなります。乾電池をすべて新しいものと交換してください。ふつうの使いかたで約6か月もちます。

乾電池で使う

乾電池でお使いになるときは、本体から電源コードを抜いてください。

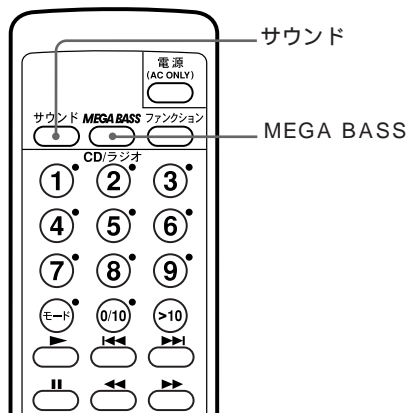


乾電池の交換について

乾電池のみで使用中、乾電池が消耗してくると電源/電池ランプが暗くなったり、自動的に電源が切れたりします。乾電池を全て新しいものと交換してください。

好みの音質で 聞く

音楽や聞きかたに合わせた音質の設定を5種類の中から選べます。また重低音を強調することができます。

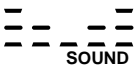


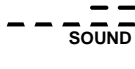
準備

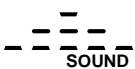
サウンド効果を楽しむ

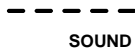
サウンドボタンを押す。

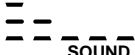
ボタンを押すごとに表示が切り換わります。希望の音質を選んでください。

 低音域と高音域を強調し、メリハリのある音質になります。ビートの効いたロック系の音楽に適しています。

 特に中、高音域を強調し、軽やかで明るい感じになります。ポップス系の音楽に適しています。

 人の声の中心である中音域を強調することにより、ボーカルをきわだたせませす。ボーカル中心の音楽に適しています。

 ダイナミックレンジの広いクラシックなどの音楽をお聞きになるときに適しています。

 低音を持ち上げ、埋もれがちなベースの音などをはっきりさせ、ずっしりとした音質になります。ジャズ系の音楽に適しています。

重低音を楽しむには

MEGA BASSボタンを押す。

「MEGA BASS」が表示され、重低音が強調された迫力のある音質になります。通常の音質に戻すには、再度MEGA BASSボタンを押します。

準備 27

使用上のご注意

置き場所について

本機やカセットテープ、CD等を次のような場所には置かないでください。

- ・磁石やスピーカーのすぐそばなど、磁気を帯びたところ
- ・テレビの近く

取り扱いについて

- ・CDふたを開けたまま放置しないでください。内部にゴミやほこりが入り、故障の原因になることがあります。
- ・本機のスピーカーには強力な磁石を使っていますので、次のようなものは本機のそばに置かないでください。
 - ・時計
 - ・クレジットカードなどの磁気カード
 - ・カセットテープ、ビデオテープなどの磁気テープ
- ・カセットデッキを長い間使わなかったときは、数分間再生状態にして、ならし運転をしてください。よい状態でお使いいただけます。

CDの取り扱いかた

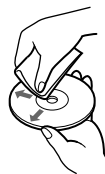
- ・文字の書かれていない面（演奏面）に触れないように持ちます。
- ・紙やシールなどを張ったり、傷つけたりしないでください。



- ・長時間演奏しないときは、ケースに入れて保存してください。ケースに入れずに重ねて置いたり、ななめに立てかけておくとその原因になります。

CDのお手入れのしかた

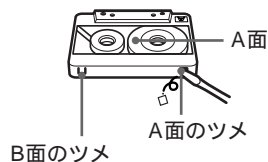
- ・指紋やほこりによるCDの汚れは、音質低下の原因になります。いつもきれいにしておきましょう。
- ・ふだんのお手入れは、柔らかい布でCDの中心から外の方へ軽く拭きます。



- ・汚れがひどいときは、水で少し湿らせた布で拭いたあと、さらに乾いた布で水気を拭き取ってください。
- ・ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、CDを傷めることがありますので、使わないでください。

大切な録音を守る—誤消去防止

ツメを折ると録音できなくなるので、誤って録音内容を消してしまうミスが防げます。ツメを折っても穴をセロハンテープなどでふさげば再び録音できます。



長時間テープをお使いのときは

90分を越えるテープは長時間使用には便利ですが、薄く伸びやすいテープです。こきざみな走行、停止、早送り、早戻しなどを繰り返すと、テープが機械に巻き込まれる場合がありますので、ご注意ください。

故障かな?と思ったら

修理に出す前に、もう一度次の点検をしてください。

| 症状 | チェック項目 |
|------------|--|
| 電源が入らない。 | <ul style="list-style-type: none">電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかり差し込む。乾電池が正しく入っているか確認する。 |
| 音が出ない。 | <ul style="list-style-type: none">表示窓に使用したい機能が表示されているか確認する。電源コードをAC INジャックとコンセントにしっかり差し込む。音量を調節する。スピーカーで聞くときは、ヘッドホンを④ジャックから抜く。 |
| ステレオにならない。 | <ul style="list-style-type: none">モードボタンを押して、「STEREO」を表示させる。 |
| 雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none">FMステレオ放送を受信しているときは、受信状態によっては雑音が多くなります。テレビの近くでAM放送を受信すると、AM放送に雑音が入ることがあります。また、室内アンテナを使用しているテレビの近くで、本機でFM放送を聞くと、テレビの画像が乱れることがあります。このようなときは、本機をテレビから離してください。このラジオ（チューナー）のテレビ音声回路はFM放送の受信回路と兼用になっています。このため一部の地域ではテレビ2または3チャンネルの音声を受信中、FM放送が混じって聞こえることがあります。その場合にはお近くのサービス窓口にご相談ください。本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 |

共通

ラジオ部

その他

次のページへつづく

故障かな?と思ったら(つづき)

| | 症状 | チェック項目 |
|--------------|---|--|
| C D 部 | 演奏が始まらない。 CDが入っているのに「NO DISC」 が表示される。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ CDぶたが閉まっていることを確認する。 ・ CDが裏返し 文字のある面を上にする。 ・ CDの汚れがひどい クリーニングする。(28ページ) ・ レンズに露(水滴)がついている CDを取り出してCDぶたを開けたまま1時間くらい置く。 |
| | 音がとぶ。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ CDの■ボタンを押して、CDの操作ができるようにする。 ・ CDによっては音がとぶことがあります。音量を下げてください。 ・ CDの汚れがひどい クリーニングする。(28ページ) |
| | CDを聞くと、近くのテレビやラジオ に雑音が入る。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ CDに大きな傷があるとき CDを取り換える。 ・ 振動のない場所に置く。 |
| テー プ 部 | 操作ボタンを押してもテープが動かない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 本機をテレビやラジオからできるだけ離す。 |
| | 録音ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ カセットぶたをきちんと閉める。 |
| | 前の録音が完全に消えない。 雑音が多い。音質が良くない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ デッキに入れたカセットのツメが折れていたら、穴をセロハンテープなどでふさぐ。 ・ 消去ヘッドをクリーニングする。(32ページ) ・ 本体用乾電池が消耗していたら、すべて新しいものと交換する。 ・ ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンをクリーニングする。(32ページ) ・ ヘッド消磁器を使ってヘッドを消磁する。(32ページ) |
| | 音が歪む。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ TYPEII(ハイポジション)またはTYPEIV(メタル)テープはお使いになれません。TYPEI(ノーマル)テープをお使いください。 |

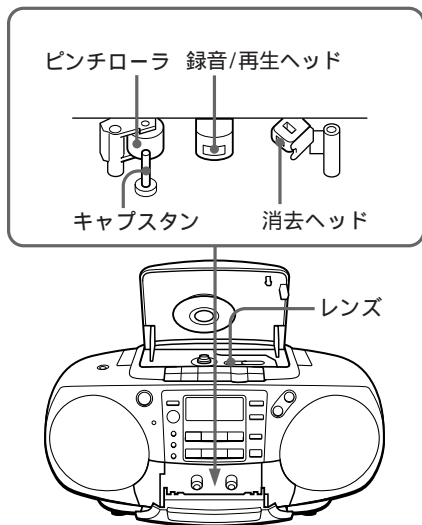
| 症状 | チェック項目 |
|-------------------------------------|--|
| タイマー (時計) 部 タイマーが動かない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 時計を正しい時刻に合わせる。 ・ 本体用乾電池が消耗していたら、新しいものと交換する。 ・ カセットが最後まで巻きとられていないことを確かめる。 ・ 電源コードで使用中、停電があった。 ・ ①表示が出ていることを確認する。 |
| リモコン リモコンで操作ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ リモコンの電池が消耗していたら、新しいものと交換する。 ・ リモコンを本体へ向けて操作する。 ・ 本体とリモコンの間に障害物があったら、取り除く。 ・ 本体リモコン受光部に強い光(直射日光や高周波点灯の蛍光灯など)が当たっていたら、当たらないようにする。 |

上記以外で動作がおかしいときは、電源コードをはずし、乾電池を取り出し、表示窓の表示が全て消えてから、再び乾電池を入れ、電源コードをつないでください。正しく動く場合があります。それでも正しく動かないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡ください。

お手入れ

ヘッド部のクリーニング

長い間使っていると、ヘッドが汚れてきて音が悪くなったり、途切れたり、あるいは録音ができなくなったりすることがあります。よりよい音でステレオ録音、再生を楽しむために、およそ10時間使うごとに別売りのクリーニングキットKK-41を使ってクリーニングすることをおすすめします。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、図に示したテープが触れる面を軽く拭きます。カセットはアルコールが完全に乾いてから入れてください。



録音/再生ヘッドの消磁

長い間使っていたり、録音/再生ヘッドに磁気を帯びたドライバーなどが触れたりすると、ヘッドが磁化され、そのまま録音や再生をするとボソボソという雑音が入ります。このようなときは、別売りのヘッド消磁器HE-5Cを使って録音/再生ヘッドに消磁をしてください。

キャビネットのクリーニング

本体の表面が汚れたときは、柔らかい布で拭き拭きます。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤液でしめらせた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

レンズのクリーニング

汚れた手でレンズを触ってしまったり、レンズの汚れが原因で音とびが起きたり、演奏できなくなったときは、別売りのクリーニングキットを使って、レンズをクリーニングしてください。

保証書と アフターサービス

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社ではCDラジオカセットコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導によるものです。

主な仕様

CDプレーヤー部

| | |
|----------|------------------------------|
| 型式 | コンパクトディスクデジタルオーディオシステム |
| チャンネル数 | 2チャンネル |
| ワウ・フラッター | 測定限界以下 (EIAJ*) |
| 周波数特性 | 20 - 20,000Hz +1/-1dB (EIAJ) |

ラジオ部

| | |
|-------|--|
| 受信周波数 | FM/TV: 76 - 108MHz (1~3CH) AM: 531 - 1,629kHz |
| アンテナ | FM/TV: ロッドアンテナ AM: フェライトバーアンテナ内蔵 |

カセットデッキ部・共通部

| | |
|--------|---|
| トラック方式 | 4トラック2チャンネル |
| スピーカー | フルレンジ: 10cm、コーン型3.0Ω、2個 |
| 早巻き時間 | 約2分 (ソニーカセットテープC-60使用) |
| 周波数範囲 | TYPEI (ノーマル) カセット 80 - 10,000Hz (EIAJ) |
| 出力端子 | ヘッドホン (ステレオミニジャック) 1個 負荷インピーダンス 16 - 68Ω |
| 実用最大出力 | 4.5W + 4.5W (EIAJ/3.0Ω) |
| 電源 | 本体用: 家庭用電源 (AC100V 50/60Hz) 単2形乾電池8個使用 (DC 12V) メモリー用: 単3形乾電池4個使用 (DC 6V) リモコン用: 単3形乾電池2個使用 (DC 3V) |
| 消費電力 | 23W |

電池持続時間

| | | |
|-----------------|------------|---------|
| 使用乾電池 | ソニーニュースーパー | ソニーアルカリ |
| 測定条件 | R14P | LR14 |
| テープ再生時** (EIAJ) | 約3時間 | 約6時間 |
| FM録音時 (EIAJ) | 約6.5時間 | 約12時間 |
| CD再生時** (EIAJ) | 約1.5時間 | 約3時間 |

* EIAJ (日本電気機械工業会) 規格による測定値です。**音量8分目程度

| | |
|--------|--|
| 最大外形寸法 | 約400×175×240mm (幅×高さ×奥行き) (最大突起部含む) (EIAJ*) |
|--------|--|

| | |
|-----|--|
| 質量 | 本体 約3.9kg ご使用時 約4.5kg (乾電池、CD、テープ含む) |
| 付属品 | 電源コード (1) リモコン (1) リモコン用単3形乾電池 (2) 取扱説明書 (1) ソニーご相談窓口のご案内 (1) 保証書 (1) |

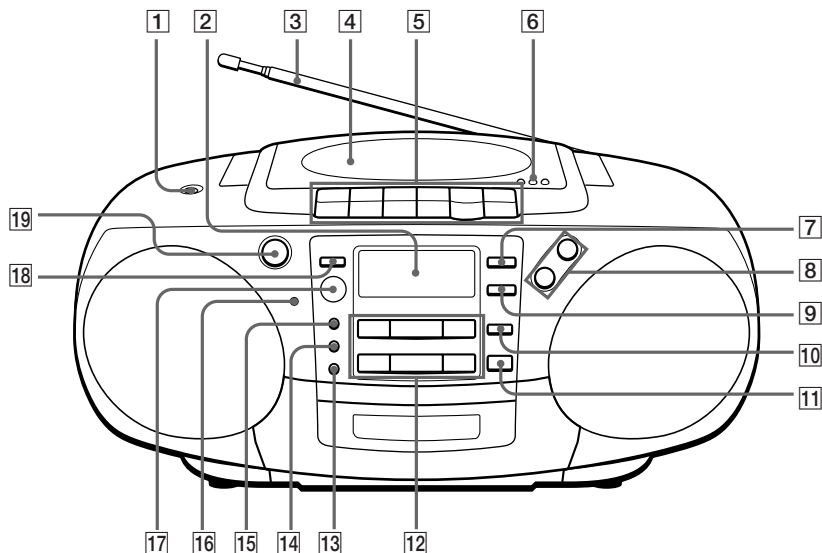
別売りアクセサリ

| | |
|-------------|------------------------|
| ステレオヘッドホン | MDR-CD370 MDR-CD470 |
| ヘッド消磁器 | HE-5C |
| クリーニングキット | KK-41 |
| CDクリーニングキット | CDM-3K |

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ

本体



その他

- | | | | |
|----|--|-----|---|
| 1 | ヘッドホンジャック | 11 | CD ■ (停止) ボタン |
| 2 | 表示窓 | 12 | CD・ラジオ・時計・タイマー操作ボタン |
| 3 | FM/TV (1-3CH)用ロッドアンテナ | CD: | CD再生 ▶▶ (演奏/一時停止) |
| 4 | CDぶた | | ◀◀ / ▶▶ (選曲) |
| 5 | テープ操作ボタン | | ラジオ: <small>エフエム エイエム</small> ラジオFM/AMボタン |
| | ■ (一時停止) | | チューニング +/- ボタン |
| | ■▲ (停止/取り出し) | | プリセット選局 +/- ボタン |
| | ◀◀ (早送り) | | 時計・タイマー: 時間設定 +/- ボタン |
| | ▶▶ (巻戻し) | 13 | 表示切換/決定ボタン |
| | ◀ (再生) | 14 | スタンバイボタン |
| | ● (録音) | 15 | 時計/タイマーボタン |
| 6 | <small>オープン クローズ</small> OPEN/CLOSEボタン | 16 | 電源/電池ランプ |
| 7 | <small>メガ ベース</small> MEGA BASSボタン | 17 | リモコン受光部 |
| 8 | 音量 +/- ボタン | 18 | スリープボタン |
| 9 | サウンドボタン | 19 | 電源ボタン |
| 10 | モードボタン | | |

索引

五十音順

ア行

| | |
|------|----|
| 頭出し | |
| CD | 9 |
| お手入れ | 32 |

カ行

| | |
|--------|----|
| 乾電池 | |
| 本体用 | 26 |
| リモコン用 | 26 |
| 繰り返し聞く | 18 |

サ行

| | |
|-----------|----|
| サーチ | 17 |
| 再生する | |
| CD | 8 |
| テープ | 12 |
| 重低音 | 27 |
| 受信状態を良くする | 11 |
| 接続 | |
| 電源コード | 26 |
| 選曲 | |
| CD | 17 |

タ、ナ行

| | |
|----------|---------|
| ダイレクト選曲 | 17 |
| タイマー | |
| スリープ | 25 |
| 目覚まし | 23 |
| 調節する | |
| 音質 | 27 |
| 音量 | 9、11、13 |
| 低音 | 27 |
| テープ | 12 |
| 電源 | |
| 家庭用コンセント | 26 |
| 乾電池 | 26 |
| 時計を合わせる | 22 |

ハ行

| | |
|-----------|----|
| 表示窓 | 16 |
| プログラム演奏 | 19 |
| ヘッドの消磁 | 32 |
| 放送局を記憶させる | 20 |

マ、ヤ、ラ、ワ行

| | |
|--------|-------|
| ラジオ | 10、20 |
| リピート演奏 | 20 |
| 録音 | |
| 誤消去防止 | 28 |
| CD | 14 |
| ラジオ | 14 |

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111